資料6

影響要因と評価項目の関連表

評価項目		影響要因（川崎市の環境要因例）		工事中						施設の存在										施設の供用																	
目標	分野	個別項目		建設機械の稼動	工事用車両の走行	造成工事等の影響	工事の影響	既存建築物等の撤去		土地利用及び地形の変化	緑の回復育成	建築物等の存在	平面構造	掘割構造	地下構造	高架又は盛土構造	駅舎の存在	車両基地の存在	換気塔の存在		施設関連車両の走行	人口の増加	施設の供用	冷暖房施設等の設置	駐車場の利用	施設の稼動	排ガスの排出	排水の排出	廃棄物の貯留	関連施設の稼動	列車の走行	駅舎の供用	車両基地の供用	自動車の走行	換気塔の供用	休憩所等の供用	歩行者の往来	
エネルギーを適正に利用できる低炭素社会への転換	地球温暖化	温室効果ガス排出量																																			
		エネルギー消費量																																			
		省資源																																			
資源を有効に利用する社会づくり	廃棄物等	一般廃棄物																																			
		産業廃棄物																																			
		建設発生土																																			
健康で安全な生活環境の保全	大気	大気質																																			
		悪臭																																			
		オゾン層＊																																			
		酸性雨＊																																			
		上記以外の大気環境要素																																			
	水	水質	公共用水域																																		
			地下水																																		
			水温																																		
		底質																																			
		水象	水量・流量・流出量																																		
			湧水																																		
		上記以外の水環境要素																																			
	土	地形・地質	土砂流出																																		
			崩壊																																		
			斜面安定																																		
		地盤	地下水位																																		
			地盤沈下																																		
			変状																																		
		土壌汚染																																			
	騒音・振動・低周波音	騒音																																			
		振動																																			
		低周波音																																			
		電磁波・電磁界＊																																			
		光害＊																																			
	ヒートアイランド現象	ヒートアイランド現象＊																																			
人と自然とが共生する良好な環境の確保	生物	植物																																			
		動物																																			
		生態系																																			
	緑	緑の質																																			
		緑の量																																			
	人と自然との触れ合いの場	人と自然との触れ合いの場																																			
快適な都市環境の創造	構造物の影響	景観（景観、圧迫感、夜間景観）																																			
		日照阻害																																			
		テレビ受信障害																																			
		風害																																			
	文化財	文化財																																			
	安全	火災、爆発、化学物質の漏洩等																																			
	地域社会	コミュニティ施設																																			
		地域交通	交通混雑、交通安全																																		
			地域分断																																		

＊の記号がついた環境まちづくり評価項目については、現在のところ評価の手法が確立されていないが、環境まちづくり推進の見地から配慮を要する項目であり、事業の実施にあたり事業者は具体的な取組内容の検討を行うものとする項目です。

網がかかった評価項目は、今回の改訂により新たに追加しようとする評価項目です。